

リトル寄付白書

東京学芸大学附属国際中等教育学校版

2019年11月22日



欲しい未来へ、寄付を贈ろう。



東京学芸大学附属国際中等教育学校

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL



東京学芸大学附属国際中等教育学校の授業で、最近の高校生の寄付事情についてお話をお聞きしました。

1. これまでに寄付をしたことがある人

ある ⇒ 94% (16名/17名)

2. これまでにチャリティに参加したり、携わったりしたことがある人

ある ⇒ 82% (14名/17名)

3. 家族が寄付やチャリティ参加をしている人

いる ⇒ 59% (10名/17名)

4. 家族で寄付やチャリティについて話をしたことがある人

ある ⇒ 71% (12名/17名)

5. 「寄付といえば」で思い出す有名人
(グループでも可)

ヒカキン (9) / 嵐 (5) / アンジェリーナ・ジョリー (2) / ビル・ゲイツ (2) / 相葉くん (嵐) / 平野紫耀 (キンプリ) / ローマ法王 / 氷室京介 / ビヨンセ / マイケル・ジャクソン / ローラ / ノーベル / クレイグ・キールバーガー (We Day) / レオナルド・ディカプリオ / テイラー・スウィフト / イギリス王室 / Xジャパン

USAID Kickstarter / 24時間テレビ / ユニセフ

今回は、東京学芸大学附属国際中等教育学校の『高校3年生選択授業 国際A：講座「国際協力と社会貢献」』の中で、生徒17名を対象に寄付事情をお伺いしてきました。

具体的なエピソードも、高校生からお聞きしました。

1. これまでにしたことのある寄付

- ・ボランティア活動を通じた寄付
- ・ボランティア活動での寄付
- ・ボランティア
- ・コンビニ寄付
- ・コンビニやマクドナルドで小銭を寄付
- ・コンビニのレジの横にある募金箱にお釣りを入れた

- ・猫の殺処分を防ぐ活動（コンビニ）
- ・コンビニ（盲導犬）
- ・自分でフードバンクに送る食品を学校で集めた
- ・小学校でのフードバンク
- ・フードバンク（2）
- ・ユニセフ（3）
- ・街頭募金、路上募金、路上募金（赤い羽根など）
- ・赤い羽根（街頭募金）
- ・緑の羽根募金
- ・赤い羽根募金（5）
- ・東日本大震災のときにコンサート会場内で
- ・東日本大震災
- ・こども食堂
- ・クラウドファンディング
- ・友達のクラウドファンディング

- ・フィリピンの現地校に文房具を寄付
- ・フィリピンの孤児院に水筒を寄付
- ・ガールスカウトの活動募金
- ・パラカップのTシャツ代金が寄付になった
- ・古本
- ・服、古着、使用しなくなった服、小さくなった服（着れなくなった）
- ・教会（服）
- ・歯ブラシ
- ・ヘアドネーション（6）
- ・貧しい子供たちにノートやペンを寄付
- ・ベルマーク（2）
- ・クリスマスのおみやげを買って送る
- ・がんの子どもへの支援
- ・飢餓の救済（アフリカの子どもたちを助ける）
- ・犬保護センター
- ・ハリケーンハービー
- ・アメリカ赤十字
- ・セラピードッグ

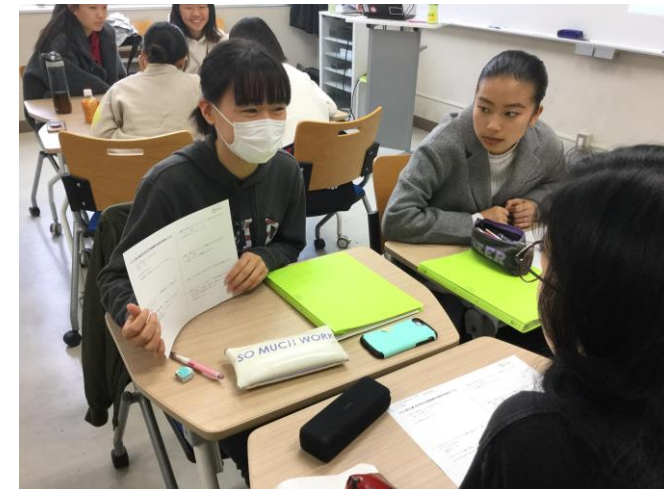


2. これまでに参加、携わったチャリティイベントや活動

- ・パラカップ（2）
- ・パラカップのボランティア
- ・ウォークアンドランフェスタ（2）
- ・子ども食堂（2）
- ・チャリティマラソンイベント
- ・フードロス関係
- ・フィリピン（孤児院、海亀保全の施設、現地校訪問）
- ・難民支援のための路上募金
- ・ボランティア部のキフノチカラ2018の運営（3）
- ・日本に千羽鶴を送る活動（海外生活の学校で）
- ・バザー
- ・チャリティコンサート
- ・ROCKCORPS（2）
- ・スマイルアフリカランニングフェスタ
- ・アメリカのフードバンクでボランティア
- ・すい臓がんの治療（リサーチのため）
- ・クローン病の治療（リサーチのため）

3. 家族が行った寄付や参加したチャリティイベント

- ・ふるさと納税（2）
- ・街頭募金
- ・ウォークfor◎◎的なのに家族で参加した（やったのが10年前だから内容は覚えていない）
- ・べたの特産物を売る
- ・留学生のスピーチ大会
- ・台風19号
- ・北海道地震
- ・服（3）
- ・東日本大震災の時に寄付をした
- ・東日本大震災（2）
- ・ユニセフ
- ・ハリケーンハービー
- ・ヘッドネーション



4. 家族で話題にした寄付やチャリティの内容

- ・ 24時間テレビのときとか
- ・ テレビや新聞などのメディアで寄付やチャリティの話題が出たとき
- ・ ふるさと納税の品がいいな〜と
- ・ 家にまわって募金を求めてくる人の話
- ・ ニュースを見ている時、震災関係
- ・ 3.11が発生したとき
- ・ 毎月寄付することについて話した
- ・ ふるさと納税について
- ・ 24時間TV
- ・ TV
- ・ 私の活動について親に聞かれたりする
- ・ 震災により、被害がでたとき。最近では沖縄の首里城が火災したこと
- ・ 東日本大震災などの災害があったとき
- ・ 街頭募金をみたとき
- ・ 街頭募金を信頼できるか
- ・ 東日本大震災



5. 「寄付っていいな！」というエピソード

- ・ 自然災害からの復興が目に見えた時
- ・ 寄付したときに感謝されるとき
- ・ 自分の寄付したものやお金が使われたと分かったとき
- ・ 震災等の寄付によって、様々な自治体が回復してきているニュースをみたとき
- ・ 実際に募金活動をし、募金してくれる方の言葉を聞いたりするプロセスから、どのように使われたかを知る
- ・ 食品を集めてフードバンクにもっていったとき、フードバンクの人々からのかんしゃの言葉
- ・ 私たちが集めた食べ物で何人助けられることができるのかを聞いたとき
- ・ 寄付することで自分にもメリットがある
- ・ 友達がカンボジアで子供たちにプロジェクトを行っている。クラウドファンディングを行っていて、自分の小銭だが助けようと思っている。
- ・ 自分の関心に合わせて、本当に支援したいところを選ぶから幸福感を感じられる
- ・ 共同体の意識
- ・ 自分が寄付した服が人のためになってること（ハリケーンハービーのボランティアでは女性たちが私の服を選んでくれた）

キフカッション「リトル寄付白書を作ろう」を終えて

寄付ってお金だけじゃない。
フードバンクや服の寄付などモノを送ることもある。
ヘアドネーションなども寄付と同じ。古本屋ブランド品の買い取りでその金額が寄付になるというサービスもある。自分が出来る形で活動や社会貢献に係ることが大事。

ビルゲイツの寄付がすごいという話で盛り上がった。

有名人の寄付の話題ですごいお金持ちのビルゲイツが自分が亡くなった時に財産をほとんどを寄付することにしているという話を聞いた。

アメリカでは自分の収入の10%を寄付するというのが習慣になっているが、ビルゲイツは財産の90%を寄付しようという活動をしている素敵なお人。



家族で寄付のことが話題になるのはテレビを見たとき。何か大きな事件や災害が起きた時のニュースや、24時間テレビなどを見ていた時に寄付の話題になることが多い。

最近では、沖縄の首里城の火災や、台風19号の災害などがニュースで取り上げられて寄付が集まっている。テレビの影響も大きい。

ボランティアも大事な寄付のカタチだと思う。ボランティアに参加することでその活動に貢献できる。応援する方法はいろいろあった方がよい。

【まとめ】

人々の思いを形にしたものが寄付。
寄付やボランティアで得られる偉大な贈り物。
その経験を周囲の人に伝えることも大事な活動。

協力：東京学芸大学附属国際中等教育学校
高校3年生選択授業

国際A：講座「国際協力と社会貢献」
生徒のみなさん 藤木正史先生

作成：キフカッションプロジェクト 山田泰久